

## 【緑区】令和2年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和2年9月4日 午後2時40分 ～ 午後3時55分
場 所	緑区役所4階 会議室4AB
出席者	<p>【座 長】今野典人 議員</p> <p>【議員：3名】鴨志田啓介 議員、高橋正治 議員、斉藤達也 議員</p> <p>【緑区：27名】岡田展生 区長、植木八千代 副区長</p> <p>室谷洋一 福祉保健センター長</p> <p>市川一弘 福祉保健センター担当部長</p> <p>新田巧 緑土木事務所長</p> <p>齋藤優子 緑図書館長 <span style="float: right;">ほか関係職員</span></p>
議 題	<p>1 令和元年度 個性ある区づくり推進費 決算</p> <p>2 令和2年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p> <p>3 令和3年度 緑区予算編成の考え方</p>
発 言 の 要 旨	<p><b>議題1 令和元年度 個性ある区づくり推進費 決算</b> (区長、副区長説明)</p> <p><b>【2 安全・安心まちづくり推進事業】</b>          斉藤議員：緑区防犯情報メールの登録者はどのくらいか。          岩岡地域振興課長：令和2年7月1日現在で2,663人です。</p> <p><b>【11 中学生等キャンパスチャレンジ事業】</b>          斉藤議員：通常の教育課程では得られにくい学習とはどのような内容だったのか。          内山学校連携・こども担当課長：緑ヶ丘中学校の生徒に対して、星槎大学の2名の教授から、ジャーナリストや獣医師として世界各地で活躍された体験をお話いただきました。</p> <p><b>【17 高校生等自立支援事業】</b>          斉藤議員：区づくり推進費から局予算に変わったのはどのような経緯なのか。          高橋生活支援課長：これまで中学生を対象にしていた健康福祉局の「寄り添い型学習支援事業」に、高校生の自立支援が対象として追加されたため、今年度からは区づくり推進費ではなく局の事業として行っています。</p>

### 【33 市民活動パワーアップ支援事業】

齊藤議員：外国人転入者向けウェルカムキットとはどういうものを配布しているのか。

岩岡地域振興課長：地域の生活になじめるよう、地域のルール等を簡単にまとめたパンフレットを配布しています。

## 議題2 令和2年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

(副区長説明)

### 【3 交通安全対策事業】

齊藤議員：スクールゾーン対策協議会は、今年度は行っているのか。

岩岡地域振興課長：直接お会いしての打合せは行っていませんが、学校単位での地域の点検等を行いました。

### 【31 市民活動パワーアップ支援事業】

鴨志田議員：パソコン相談コーナーでは、スマートフォンの使い方講習は行っているのか。

山田総務課長：Zoomの操作講習などを実施しています。

### 【令和2年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業）現年度見直しについて】（新しい生活様式への対応などコロナ対策関連）

齊藤議員：市では中小企業が新しい生活様式に対応するための支援として、インターネット環境整備への補助を行っているが、肝心の区役所はWi-Fi環境が整備されているのか。

山田総務課長：施設としては整備されていませんが、BWAのポケットWi-Fiなどを活用し、情報セキュリティがクリアできれば、Zoomで会議ができる環境を整えたいと考えています。

齊藤議員：WEB会議ができる環境整備をどんどん進めるべきで、そのために必要な要求をしていくべきではないか。

岡田区長：Zoomはこれからの新しい生活様式の中で必要なものだと思いますので、整備を進めていきたいと思えます。

高橋議員：新しい生活様式を踏まえた環境整備の160万円について、関係機関とのリモート会議のために必要な機材とはどのようなものを想定しているのか。

山田総務課長：Zoomの有料ライセンス、ノートパソコン、カメラ、スピーカーなどを導入する予定です。

高橋議員：夏祭りなど、地域とのコミュニケーションの場がコロナ禍で中止となっているが、その代替案として考えていることはあるか。

岡田区長：地域とのコミュニケーションの新しいやり方について、インターネットだけの付き合いで良いのか、実際に触れ合うことも必要ではないかなど、思案しております。

鴨志田議員：緑区の特性に注目しながら、ウィズコロナやアフターコロナに向けた区民アンケート調査をやってはどうか。

山田総務課長：区独自の調査ではありませんが、市民局が4年に1回実施している自治会・町内会向けアンケート調査を、コロナ関連の項目を入れて今年度実施予定とのことです。政策局が毎年度実施している市民意識調査の結果も含めて、全市としての施策展開に活用できるものと考えます。

今野座長：町内会でのイベント等の実施判断について、どのような取扱いとしているのか。また、WEB会議の実施にあたり、日常的にZoom等を使っていない人たちにどう教えていくつもりなのか。

山田総務課長：イベント等の実施についての取扱いとしましては、緊急事態宣言の発出を受け、4月9日に各自治会長宛てに、イベント・会合等の開催延期や中止などを検討いただきたい旨の通知をいたしました。その後、緊急事態宣言の解除を受け、5月29日に、イベント・会合等を開催する際は引き続き3密を避け、必要な感染対策を講じるようお願いする旨の通知をいたしました。

WEB会議の実施にあたりましては、地域振興課が約30施設にお声がけをし、9月にみどり一むでZoom研修を実施します。今後もWEB会議に必要な知識が得られるような施策を考えていきます。

### 議題3 令和3年度 緑区予算編成の考え方

(区長説明)

斉藤議員：国際交流ラウンジが予算化され、今年度設置の方向で動いているようだが、区と国際局とが連携して進めていただきたい。また、設置場所は決まったのか。

岡田区長：区が主体となり国際交流ラウンジをしっかりと進めていき、運営団体やYOKEとの企画事業も行っていきたいと考えています。設置場所は、中山駅周辺を考えています。

備 考